



移動電源車開発担当者
高橋 准一

移動電源車開発担当者
加村 和俊

電気が駆けつける。

MEIDEN Engineer's Note : No.9 移動電源車

移動電源車は、いわば走る発電所。約500世帯分の電気を供給できる最大出力1600kWの発電機をのせているんです。最近では、停電時のバックアップとして所有する自治体や企業も増えてきました。発電出力が大きくなればなるほど、発電機も大きくなり、燃料もたくさん積む必要があります。でもその分、電源車も大きくなって、街では使いづらくなる。もしもの時、それでは困ります。明電舎は、移動電源車の小型軽

量化にずっと取り組んできました。車体強度を保ちながら車体本体の構造を変えたり、エンジンや発電機の素材を一部鉄からアルミへ変えることで、小型軽量化を実現。また、それにとまう発電時の騒音も、独自の防音構造で解決しました。もしもの時も、みなさんのもとへ安全に電気を届けること。移動電源車も、発電所や変電所、電線と同じように送電網の一翼を担うことで、これからもその使命を果たしていきます。



WEBにも駆けつけちゃいますカー？ | 明電舎 エンジニアズノート [検索](#)

テクノロジーで、流れを変える。 株式会社 明電舎